

建設消防委員会

本委員会で審査した案件は、議案4件であり、原案どおり可決又は認定しました。主なものは次のとおりです。

◎認定第8号「平成23年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について」

問 平成27年度が工事の完成目標だが、これからの一番の課題は何か。

答 一番の課題は家屋の移転交渉であり、二番目は財源である。財源の確保の方法として、保留地の処分が考えられる。

◎議案第63号「平成24年度総社市一般会計補正予算(第3号)」のうち、本委員会の所管に属する部分

《補正予算の主な内容》
・今年6月の大雨により、被災した公共施設の復旧に伴う経費の増額

◎議案第67号「工事請負契約

の締結について

清音神在本線改良(下部工) 工事の工事請負契約を株式会社大本組・土井建設株式会社清音神在本線改良(下部工) 工事共同企業体と締結しようとするものです。

問 前回の工事では、何度も設計変更があったが、この度は変更のないよう配慮をしているのか。

答 変更のないように配慮している。

◎議案第68号「工事請負契約の締結について」

清音神在本線改良(上部工) 工事の工事請負契約を株式会社IHインフラシステム中国営業所と締結しようとするものです。

問 平成26年度までに全ての工事が完成するのか

答 予定どおり完成する見込みである。

【一般会計決算審査特別委員会建設消防分科会】

◎認定第1号「平成23年度総

社市一般会計歳入歳出決算認定について(所管部分)

問 土木担当員からの要望は、どの課が取りまとめをしているのか。また、件数や執行率はどうなっているのか。

答 総合窓口は地域応援課である。平成23年度の建設部への要望件数553件のうち、執行したのは261件、執行率は47・2%である。

問 消防団の報酬等の見直しや組織の再編を検討するつもりがあるのか。

答 報酬は階級別に定めており、団長が7万7千円で県下15市で14番目、団員は1万5千円で10番目である。今後は県下の平均値に近づけていきたい。また、消防団組織の再編については、団員の平均年齢が年々上昇しているため、団員確保と高齢化対策を行いたい。特に、北部地域の消防団は、若者が少なく分団の存続が危惧されている。この地域での分団の統合について団

の幹部と協議中で、今後も継続して協議をしていく。

問 救急搬送が増加していることにより、救急車の消耗が心配されるが、その対策は考えているのか。

答 財政難により計画的な車両更新ができていないのが現状である。このため、平成23年12月に消防車両更新基準を見直した。救急車は10年または走行距離10万kmで更新を目安としたが、1年に平均3万1千km走行するので4年目で10万kmを超える。



各地域の防災のリーダーである消防団

集 議会アンケート結果まとめました!!
特 ビ協力ありがとうございました。

◎調査目的 総社市議会に対する市民の意見を把握し、今後の議会改革の参考とする。

◎調査対象 20歳以上の市民(男女各千人) 計2千人

◎対象者抽出方法 無作為抽出

◎回収結果 有効回収数 745件
有効回収率 37・3%

◎回答者の属性
性別 男性:41・9%
女性:50・2%
不明:7・9%

◎年齢 20~30歳代:20・9%
40~50歳代:30・6%
60~70歳代:44・3%
80歳代以上:0・7%
不明:3・5%

◎設問
1 市議会への関心度 「ある」「少しある」で7割

以上

2 市議会だよりの閲読状況

「関心のあるものだけ読む」が過半数

3 本会議の傍聴経験 「見たことがない」が6割以上、4割が「ケーブルテレビで見ている」

4 市議会に対する評価 「大いに評価する」「ある程度評価する」が37%、「あまり評価しない」「全く評価しない」が25%、「わからない」が36%

5 市民の意見や声の議会への反映ができているか

4人に1人が「そう思う」

6 市議会改革の必要性 過半数が「必要と思う」

7 議会の課題について 「議員数・報酬の検討」が

6割、「市民の声が反映でき

る懇談会の開催や意向調査など」が5割(複数回答)

8 議員数について 「多い」が過半数

9 適正と思う議員定数 「20人」が39・0%で最多

10 議員報酬について 「多すぎる」が過半数

11 適正と思う議員報酬 「30万円未満」が35・6%

12 政務調査費について 「適当だ」が32・9%

13 意見・要望 教育、福祉、子育てなど生活に関する多岐にわたるご意見・ご要望や議会へのご意見を多数いただきました。紙面の都合上割愛いたします。全容は市議会ホームページに掲載しています。

県下15市議会の状況(議員定数・報酬・政務調査費)

(平成24年10月1日現在)

	総社市	岡山市	倉敷市	津山市	玉野市	笠岡市	井原市	高梁市	新見市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市	美作市	浅口市
人口(およそ)	6.6万人	71.1万人	47.7万人	10.5万人	6.3万人	5.3万人	4.3万人	3.4万人	3.3万人	3.7万人	3.7万人	4.3万人	4.8万人	2.9万人	3.5万人
定数(人)	24	46注1)	43	28	21	22	20注2)	20	18注3)	16注4)	20注5)	18注6)	26	20注7)	20
議員報酬	40万円	67万円	67万円	46.5万円	45万円	42万円	35万円	32.5万円注8)	33万円	35.5万円	35万円	35万円	30万円	32万円	31.5万円注9)
政務調査費(月額)	2.5万円	13.5万円	15万円	5.8万円	3.5万円	4.5万円	3万円	3万円	2万円	2.5万円	2万円	3万円	3万円	3万円	3万円

注) 1~7 すでに議員定数条例は改正されているが、今回の選挙から適用される定数 注) 8、9 期間を定めて適用されている額